

指定管理業務評価表

施設名	小牧南児童館		
対象年度	29年度	評価担当部	こども未来部
指定管理者名	小学館集英社プロダクション・ダイケングループ		
指定期間	平成29年4月1日～平成34年3月31日		
職員体制	常勤職員：4人	非常勤職員：10人	合計：14人

1. 利用実績

(1) 利用者数

月	4	5	6	7	8	9
人数	6,174	6,442	6,765	8,058	9,741	6,667

月	10	11	12	1	2	3	合計
人数	8,097	6,208	5,338	4,966	6,009	7,142	81,607

(2) 増減要因

昨年度と比較すると7,345人減少し、特に幼児、小学生が減少している。過去5年間と比較しても少ないので、今後新規利用者獲得に力を入れていただきたい。

2. 利用者アンケートの結果

実施期間	(共通)平成29年10月24日～11月23日 平成29年5月(コミュニティと合同) 平成29年11月(コミュニティと合同)	回答数	150人 245人 195人 計345人
利用者の主な意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・室内が綺麗で安全な環境で安心して遊ばせることができる</li> <li>・先生が優しく子どもとたくさんコミュニケーションをとってくれるため、人見知りもなくなっている、工作が色々とできるのも素敵</li> <li>・イベントがたくさんあって工作も季節ごとに変わっていていつきても楽しめます</li> <li>・イベントの時、駐車場に停められず、しかたなく帰ったことがあるのもう少し駐車スペースがあると良いと思う。</li> </ul>		
具体的な対応状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント時は近隣施設の協力を依頼し、臨時駐車場を設けて対応</li> </ul>		

## 3. 収支の実績

(単位：円)

		28年度 (前年度決算額)	29年度 (現年度決算額)	30年度 (翌年予算額)	備考 (主な内訳、増減要因)
収入	指定管理料	24,300,000	25,700,000	26,800,000	年間委託料
	精算金	0	-161,049	0	
	合計	24,300,000	25,538,951	26,800,000	
支出	人件費	17,321,515	21,201,290	23,626,000	職員給与
	報償費	137,136	123,454	165,000	講師謝礼
	旅費	33,914	39,359	92,000	交通費・研修参加費
	需用費	466,044	444,245	435,000	児童館活動費等
	役務費	676,613	661,603	640,800	保険料等
	委託費	0	0	0	ピアノ調律等
	その他	4,683,569	3,069,000	1,841,200	間接費・負担金等
	合計	23,318,791	25,538,951	26,800,000	
差し引き収支		981,209	0	0	

#### 4. 評価

項目	市の評価
運営業務	<p>仕様書、事業計画書に基づき概ね適正に実施されている。日常の来館者への対応や行事・イベントも適切に実施されている。</p> <p>また、コミュニティセンターとの複合施設として、地域運営協議会を中心に地域の方と共に運営をしており、幅広い世代に利用されている。</p>
維持管理業務	<p>毎日館内の安全点検が実施されている。併せて玩具の破損等がないかの確認、消毒、洗浄を行っており、適正な維持管理として評価できる。</p>
自主事業	<p>コミュニティセンターと連携して、夏まつりやハロウィン仮装大会などのイベントを多く企画しており、利用者から大変好評を得ている。</p>
サービスの質	<p>社内研修の実施や、他館の見学などで職員のスキルアップを図り、利用者の満足度向上に努めている。</p> <p>職員間でアイデアを持ち寄って、毎月の工作やイベントに応じた特別工作を考えており、利用者を飽きさせないよう、新しい興味をひく工作の提供をした。</p> <p>隣接している公園との行き来が多いため、公園での子どもたちの行動についても配慮をした。</p>
収支状況 及び 経費節減	<p>資金管理については、計画どおりの収支状況となっている。</p> <p>職員が講師を行うことができる講座は、職員で行うなどして、経費節減に努めている。</p>
その他 (緊急時の対応等)	<p>コミュニティセンターとヒヤリハットの事例を共有して、日常の危機管理に努めている。また、危機管理マニュアルも整備されており、年2回、避難訓練を実施している。</p> <p>社内の監査委員を児童館へ派遣して館内の安全監査を行い、館内の危険箇所を改善している。</p>